| 学校番号 | 207 |
|---|---|

# 令和８年度　地理歴史科

| 教科 | 地理歴史 | 科目 | 世界史演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 詳説世界史（山川出版） | | | | | | |
| 副教材等 | 最新世界史図説　タペストリー　（帝国書院） | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１．古代中国から現代中国までの中国史を通史として行います。その他演習も含めて実施します。
２．近現代について、日本史も踏まえて 19 世紀以降世界の一体化がすすむ中、諸地域の社会や経済の変化について考察します。
３．20 世紀の大戦の要因について深く考察し、民主主義・平和主義の大切さを考えます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
歴史の基本的な用語･概念を理解し､身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
歴史の中で生きている人間の姿を学ぶことを通して、人間や社会についての省察を深める。
【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史を地理的条件や日本史と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c：主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | ・世界の歴史に関する諸資料､画像などから、有用な情報を選択して、読み取ったり、まとめたりしている。<br>・世界の歴史についての基本的な事柄を地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、その知識を身に付けている。 | ・歴史的事象の考察を通して、様々な事象の因果関係を探求することによって、主体的に思考・判断する力を身につけようとしている。またそれを適切に表現している。<br>・社会的事象の歴史的見方・考え方を働かせて、概念などを活用して多面的・多角的に考察することができる。 | ・歴史的事象を単なる知識としてではなく、人々のいきいきとした営みとして見ている。<br>･異文化理解の観点から､日本の歴史や文化との差異、共通点などを追求しようとしている。<br>･多面的･多角的な考察や深い理解を通して、世界の諸地域の多様な歴史、文化を尊重しようとすることの大切さについて自覚している。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 1部 諸地域の歴史的特質の形成<br>・<br>2部 諸地域の歴史的特質の形成<br>・<br>3部 諸地域の交流・再編 | ・中国の古代文明<br>・秦・漢帝国<br>・中国の動揺<br>・東アジア文化圏の形成<br><br>・東アジア世界の展開とモンゴル帝国 | a:中国文明の発生の過程、都市文明の成立について基本的な知識を身に着ける<br>b: 中国文明の発生の過程、意義などを多角的に考察し、文章にまとめる<br>c:設定された時代の特徴について、関心をもって学習しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート | 提出ノート/プリント<br>意見<br>振り返り<br>観察 |
| | | | a: 東アジア世界の形成の成過で、北方民族が及ぼした影響についてとらえようとしている。五代十国から宋にかけての中国社会・経済・文化の変化、モンゴル民族の発展について、関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:資料から得た情報と学習で得た知識を統合して、歴史を読み解く問いを表現している。モンゴル帝国の発展が世界史に与えた影響について多面的・多角的に考察し、適切に表現している。<br>c:学習を踏まえて、見通しをもって取り組み、問いに対して粘り強く取り組んでいる。 | 定期考査 | 定期考査<br>レポート | 提出ノート/プリント<br>意見<br>振り返り<br>観察 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 2<br>学<br>期 | | ・明・清<br>・清末<br>・東アジアの激動<br>・アジア諸国の変革と民族運動<br>・アジアの民族運動<br>・満州事変、日中戦争 | a: アジア各地域を支配した大帝国とその周辺地域に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。アジア諸地域間の交流とヨーロッパ世界とのかかわりについて多面的・多角的に考察している。<br>19 世紀末から 20 世紀初頭にかけて、列強諸国による帝国主義的世界分割と、それに抵抗したアジア諸地域の人々の様子に対する関心を高め、意欲的に追究しようとしている。<br>b:歴史的な意義や、現代への社会への影響を関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。19 世紀の世界の一体化と関連付けて、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。<br>c:ヨーロッパ社会の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し解決策を追求しようとしている | 定期考査 | 定期考査<br>レポート | 提出ノート/プリント<br>意見振り返り<br>観察 |
| 3<br>学<br>期 | | ・中華人民共和国<br>・文化史、現代史を中心に | a:二度の大戦の間の中国と 30 年間の世界の動向について理解している。第二次大戦後の歴史についての流れを理解している。<br>b:戦争の体験が人々に何をもたらしたのか、現代の歴史にいかにつながったかを考察し自分の言葉で表現している<br>c:大戦後に形成された構造と諸課題が現代にどのような影響を与えているか考察し、追求しようとしている | 定期考査 | 定期考査<br>レポート | 提出ノート/プリント<br>意見振り返り<br>観察 |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度